

クイックスタートガイド

SoftBank 503LV

目次

■ お買い上げ品の確認	1
■ 使用材料	2
■ 安全上のご注意	4
■ お願いとご注意	19
■ 知的財産権について	29
■ 本製品の比吸収率 (SAR) について	31
■ Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)	36
■ ご利用上の注意事項	41
■ 各部の名称と機能	46
■ 本機の充電	48
■ 電源の入れ方と切り方	49
■ スリープモード	52
■ セットアップ	53
■ メール	55
■ 本機の更新について	57
■ 取扱説明書について	60
■ 保証とアフターサービス	61
■ お問い合わせ先一覧	63

お買い上げ品の確認

このたびは、SoftBank 503LV をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機のご使用前に、以下の物をご確認ください。

本体



イジェクトピン



クイックスタートガイド (本書)

保証書

使用材料

■ 本機

使用箇所	材料	表面処理
電源キー	アルミニウム合金	サンドブラスト、アルマイト処理
ボリュームキー	アルミニウム合金	サンドブラスト、アルマイト処理
USIM/SD カードトレイ	PC 樹脂、銅合金、ステンレス鋼、アルミニウム合金	メッキ
カメラ	ガラス、PC 樹脂	メッキ
受話口	ステンレス鋼	PVD 処理
スピーカー	ステンレス鋼	PVD 処理
外部接続端子	銅合金、ステンレス鋼	メッキ




使用箇所	材料	表面処理
ディスプレイ	ガラス、PC 樹脂	表面強化、AF コーティング
筐体（背面部）	ガラス、PC 樹脂	表面強化
筐体（前面・側面部）	PC 樹脂 + 10%GF、アルミニウム合金	表面強化

■ 付属品

使用箇所	材料	表面処理
イジェクトピン	ステンレス	—

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 <p>禁止（してはいけないこと）を示す記号です。</p> <p>禁止</p>	 <p>水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示す記号です。</p> <p>水ぬれ禁止</p>
 <p>分解してはいけないことを示す記号です。</p> <p>分解禁止</p>	 <p>指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。</p> <p>指示</p>

本機、USIM カード、充電器（別売）、SD カード（別売）の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水ぬれ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水ぬれ禁止

充電端子や外部接続端子、ケーブルの端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子、ケーブルの端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- ・USB 接続ケーブルを接続機器から抜く
- ・本機の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本機を長時間連続使用される場合や充電中、Continuum 利用時は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中、Continuum 利用時は、本機・アダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本機の USIM カードや SD メモリーカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、USIM カードや SD メモリーカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において
禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。自動的に電源が入る機能を
設定している場合は、設定を解除してください。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本機に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本機は、最寄りのソフトバンクショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について→「使用材料」(2 ページ)



指示

本機のスピーカー、送話口、受話口に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を 15cm 以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードにする、または電源を切るなど）。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

お願いとご注意

■ 安全性および取り扱いに関する重要な情報

ビニール袋に関する注意事項

幼児や子供がかぶって遊ぶと窒息などの危険があります。ビニール袋は、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

■ ご利用にあたって

- USIM カードや、USIM カード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（63 ページ）または最寄りのソフトバンクショップまでご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- **傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。**
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
- 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- Microsoft が提供する「Microsoft Store」上より、お客様ご自身でインストールされるアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきましては、当社は一切の保証を致しかねます。

通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- JavaScript 通信は、通信料が高額になる可能性があります。

■ TLS について

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、TLS（インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法）を利用できます。

■注意：

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任において TLS を利用するものとします。お客様ご自身による TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび証明書の認証機関は、お客様に対し TLS の安全性に関して何ら保証を行うものではありません。

■ お取り扱いについて

- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～80%（ただし結露しないこと）の範囲でご使用ください。
- 使用中や充電中は本機が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機の背面カバーは取り外しできません。無理に取り外そうとしないでください。破損や故障の原因となります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- SDカード（別売）の使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。

内蔵電池について

- ・内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、次の状態では保管しないでください。
 - (充電完了後すぐの) フル充電状態
 - (本機の電源が入らないほど) 電池残量がない状態
- ・目安として、電池残量が 40% 程度での保管をおすすめします。
- ・内蔵電池の使用条件によって、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れることがあります。安全上問題はありません。
- ・内蔵電池は消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、本機をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先 (63 ページ) または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

リチウムイオン電池について

- ・本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。


- ・充電器は、次の製品を使用してください。
 - AC アダプタ (microUSB Quick Charge 2.0 対応) [ZSDBA4]
(SoftBank SELECTION スマートフォン用 Qualcomm® Quick Charge™ 2.0 対応 AC アダプタ [SB-AC12-HDQC])
 - AC アダプタ (microUSB 1.0A) [ZSDBA6]
(SoftBank SELECTION スマートフォン用 microUSB 充電 AC アダプタ 1.0 A [SB-AC13-HDMU])それでも充電ができない場合は、お問い合わせ先 (63 ページ) または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。
- ・海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ディスプレイ (タッチパネル) について

- ・ディスプレイ (タッチパネル) に水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などで拭いてからご使用ください。

電話のリセットについて

電話のリセットをすると、本機のメモリのデータがすべて消去されます。必要なデータは事前にバックアップをとることをおすすめします。
消去された内容は、元に戻せませんので、十分にご確認のうえ操作してください。

スタート画面→すべてのアプリ画面→ (設定)→「システム」→「バージョン情報」→「電話のリセット」

■注意：

電話のリセットをすると、使用開始後にインストールしたアプリも消去されます。必要な場合は、リセット後に Microsoft Store からインストールしてください。

■ Bluetooth® 機能について

Bluetooth® 機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

使用上の注意事項

本機の Bluetooth® 機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Bluetooth® 機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
2. 万一、Bluetooth® 機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth® 機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクカスタマーサポート

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）

（一般電話からおかけの場合、お問い合わせ先（63 ページ）を参照してください）

・ **周波数帯について**

この無線機器は、2.4GHz 帯を使用します。

FH1 は変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は約 10m 以下です。

XX4 はその他方式を採用し、与干渉距離は約 40m 以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。



■ **Wi-Fi（無線 LAN）について**

無線 LAN（以降「Wi-Fi」と記載）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- ・電気製品・AV・OA 機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります（特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります）。
- ・複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

使用上の注意事項

本機の Wi-Fi の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Wi-Fi を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
2. 万一、Wi-Fi の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fi の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクカスタマーサポート

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）

（一般電話からおかけの場合、お問い合わせ先（63 ページ）を参照してください）

・周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz帯と5GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。



・5GHz帯の使用チャンネルについて

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz / 5.3GHz / 5.6GHz帯 (W52 / W53 / W56) の3種類の帯域を使用することができます。

- W52 (5.2GHz帯 / 36、38、40、44、46、48ch)

- W53 (5.3GHz帯 / 52、54、56、60、62、64ch)

- W56 (5.6GHz帯 / 100、102、104、108、110、112、116、118、120、124、126、128、132、134、136、140ch)

5.2GHz / 5.3GHz帯 (W52 / W53) を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

Bluetooth® との同時利用について

Wi-Fi (IEEE802.11b/g/n) は、Bluetooth® と同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、近くで Bluetooth® 機器を利用したり、本機の Bluetooth® が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth® 機器の利用を中止するか、本機の Bluetooth® を無効にしてください。

■注意：

- 本機の Wi-Fi で設定できるチャンネルは 1-13 です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。
- 一部の国／地域では、Wi-Fi の使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

知的財産権について

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものに付きましても、上記と同様の適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

- 本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

商標／登録商標について

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excel、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation および／またはその関連会社の商標です。
- Lenovo および Lenovo ロゴは、Lenovo Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- SD、SDHC、および SDXC ロゴ、miniSD、および miniSDHC ロゴ、microSD、microSDHC、および microSDXC ロゴは、SD-3C, LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本製品の比吸収率 (SAR) について

この機種【SoftBank 503LV】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{*1}は、人体の近くで使用される携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、2W/kg の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の高さに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【SoftBank 503LV】の頭部における SAR の最大値は 0.396W/kg^{*2} であり、また下記の方法^{*3}により身体に装着した場合の SAR の最大値は 1.682W/kg^{*2} です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

頭部以外の位置におけるご使用方法^{※3}：

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から0.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています

※2 本機の電話機能と同時に使用可能な無線機能を含みます。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

電波ばく露の影響に関する情報として、**欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準**を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

■「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本携帯電話機【SoftBank 503LV】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR の許容値は 2W/kg で、本携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 0.925W/kg、アクセサリ等により人体より 0.5 センチ以上離して、その間に金属（部分）が含まれないようにして使用する場合の SAR の最大値は 1.891W/kg です。

■「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6 W/kg となっています。

測定試験は機種ごとに FCC が定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 1.257W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合の SAR の最大値は 0.659W/kg です。

身体装着の場合：

この携帯電話機【SoftBank 503LV】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1 センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCC の定める SAR 許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

・ FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

- **世界保健機関（英文のみ）**

<http://www.who.int/emf>

- **SoftBank スマートフォン 各機種**の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone **【SoftBank 503LV】** meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is 0.396 W/kg*** when tested for use at the ear, and 1.682 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear****

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 0.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- **Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)**

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

- **Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)**

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>(Japanese)

This mobile phone 【SoftBank 503LV】 is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.925 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 1.891 W/kg* at the separation distance of 0.5cm from the body. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.257 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.659 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID 2AJAYJP-LEN.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

- **World Health Organization**

<http://www.who.int/emf>

- **List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model**

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

ご利用上の注意事項

■ 通信料金についてのご注意

本機やアプリケーションが自動で行う通信や、ソフトウェアアップデートによりパケット通信料が発生する場合があります。

その場合のパケット通信料はお客様負担となりますので、あらかじめご了承ください。

また、大きなファイルのダウンロードやソフトウェアの更新で通信量が多くなる場合は、Wi-Fi 接続でのご利用をおすすめします。

■ 海外渡航時のローミング設定について

海外渡航時の国際ローミング設定は、初期設定（オフ）のまま、変更しないことをおすすめします。海外でのご利用時も自動的に通信を行い、パケット通信料が高額になる場合があります。

■ GPS 等位置情報の提供事業者について

本機で使用している GPS 等の位置情報はマイクロソフトが提供しており、その精度や位置情報を利用した結果については当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報などを確認できます。

1. スタート画面→すべてのアプリ画面→ (設定) → 「Extras」をタップします。
2. 「認証情報」をタップします。

■ FCC ID について

本機は、米連邦通信委員会 (FCC) の認可を取得した製品です。FCC ID については次の操作で確認できます。

1. スタート画面→すべてのアプリ画面→ (設定) → 「Extras」をタップします。
2. 「認証情報」をタップします。

■ 周辺機器やソフトウェアご利用時のご注意

Windows 用として市販されている周辺機器やソフトウェアには、本機で利用できないものがあります。また、利用できたとしても、その動作および結果については当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本機のメモリの空き容量について

本機のメモリ空き容量が少なくなると警告メッセージが表示されます。不要なアプリケーションを削除して、メモリの空き容量を確保してください。

空き容量が少ない状態での動作の安定性や正常動作については、当社は保証を致しかねます。

■ 環境、リサイクル、破棄に関する情報

リサイクルに関する全般的な声明

Lenovo は、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が不要になったときに責任をもってリサイクルすることをおすすめしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについては、<http://www.lenovo.com/recycling> にアクセスしてください。

重要な WEEE 情報



×印がある車輪付きごみ箱のシンボルマークが付いている電気／電子機器は、地方自治体の無分別ゴミとして廃棄できません。廃電気／電子機器（WEEE）は、お客様が利用可能な、廃電気／電子機器の返却、リサイクル、あるいは処理のための回収方法を利用しなければなりません。

各国固有の情報は、Web サイト <http://www.lenovo.com/recycling> で入手可能です。

日本におけるリサイクル情報

日本でのリサイクルおよび廃棄についての情報は、Web サイト <http://www.lenovo.com/recycling/japan> で入手可能です。

リサイクルに関するその他の声明

本機のコンポーネントおよび電池のリサイクルに関する追加情報については、「ユーザーガイド」を参照してください。

EAC

適合証明書（欧州連合）

CE 0700 !

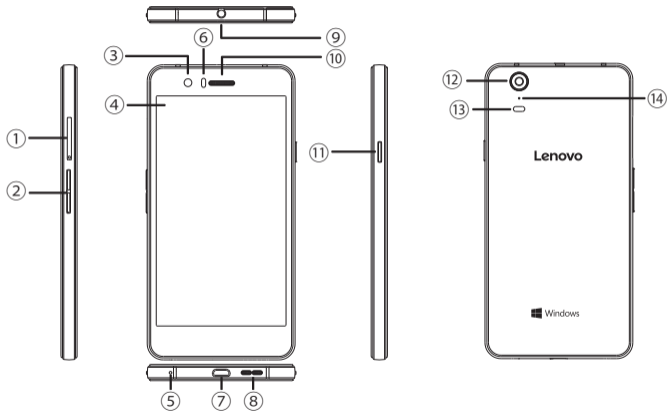
Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive（R&TTE 指令）

この製品は Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive（R&TTE 指令）1999/5/EC の基本要件およびその他の関連する規定に適合しています。

法的通知

制限付き権利に関する通知：データまたはソフトウェアが米国一般調達局（GSA: General Services Administration）契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

各部の名称と機能



① USIM/SD カードトレイ

USIM カードやSD カード(別売)を取り付けるために使用します。

② ボリュームキー

音量を調節します。

③ フロントカメラ

静止画や動画の自分撮りに使用します。

④ ディスプレイ (タッチパネル)

本機のディスプレイはタッチパネルです。指で直接触れて操作できます。

注意：

本機のディスプレイは TFT 液晶ディスプレイです。TFT 液晶ディスプレイには、画面上に点灯しない点や常時点灯する点がある場合があります。

また、見る角度によって色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは液晶ディスプレイの構造によるもので、故障あるいは不良ではありません。

⑤ 送話口／マイク

通話相手に、自分の声を送るために使用します。

また、音声の録音に使用します。

⑥ 近接／明るさセンサー

近接センサーにより、通話時のタッチパネルの誤動作を防ぎます。

明るさセンサーは、周囲の明るさにあわせてディスプレイの明るさを調節するために使用します。

⑦ 外部接続端子

充電器(別売)やPC 接続用のケーブル(別売)を接続します。コネクタのタイプは microUSB です。

⑧ スピーカー

動画や音楽、着信音などの再生音を出力します。

⑨ ヘッドセット端子

ヘッドセット(別売)やステレオイヤフォン(別売)を接続します。

⑩ 受話口

通話相手の音声聞こえます。

⑪ 電源キー

本機の電源やスリープモードのオン/オフに使用します。

注意：

- ・アプリ使用中に電源を切らないでください。本機の不具合や、データ破損の原因となるおそれがあります。
- ・電源を切ったあと、再度電源を入れるときは、5 秒以上待ってから操作してください。

⑫ カメラ

静止画や動画を撮影します。

⑬ モバイルライト

カメラでの撮影時にフラッシュとして使用します。

⑭ リアマイク

音声の録音に使用します。

本機の充電

■ 本機を初めて使うときは、必ず充電をしてから、電源を入れてください。

充電器は、次の製品を使用してください。

- AC アダプタ (microUSB Quick Charge 2.0 対応) [ZSDBA4]
(SoftBank SELECTION スマートフォン用 Qualcomm® Quick Charge™ 2.0 対応 AC アダプタ [SB-AC12-HDQC])
- AC アダプタ (microUSB 1.0A) [ZSDBA6]
(SoftBank SELECTION スマートフォン用 microUSB 充電 AC アダプタ 1.0 A [SB-AC13-HDMU])

1

充電器の microUSB プラグを、本機の外部接続端子に接続します。

注意：
microUSB プラグの向きを確認し、正しく接続してください。
無理に接続すると破損の原因となります。



2

充電器のプラグをコンセントに接続します。

3

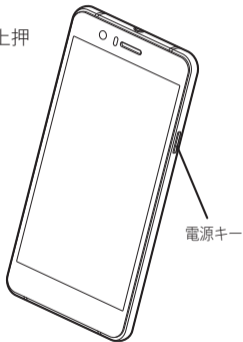
充電が完了したら、充電器をコンセントから抜き、本機から取り外します。

電源の入れ方と切り方

本機の電源を入れる

1

電源キーを2秒以上押し続けてください。



2

ロック画面が表示された場合は、ロック画面を中央から上にドラッグしてください。



※タップ、ドラッグなどの操作について詳しくは、「ユーザーガイド」をご覧ください。

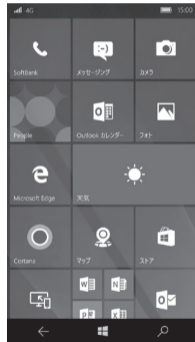
3

PIN 入力画面が表示された場合は PIN を入力してください。



4

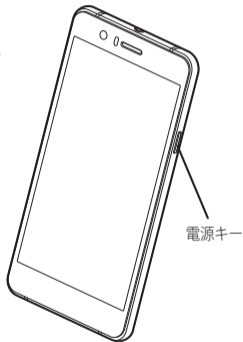
スタート画面が表示されま
す。



本機の電源を切る

1

電源キーを2秒以上押し続けてください。「下にスライドして電源オフ」と表示されます。



2

画面を中央から下にドラッグしてください。

注意：

- この方法で電源が切れない場合は、電源キーを15秒以上押し続けてください。強制的に電源が切れます。
- 強制的に電源を切った場合、保存していない情報、データは失われます。



スリープモード

スリープモードとは、ディスプレイの表示など一部の機能をオフにして、電池の消費をおさえる状態です。

本機をスリープモードにする

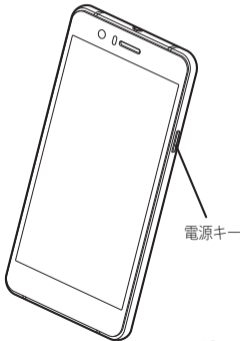
1

電源キーを押してください。

2

ディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

- 一定時間、操作がなかった場合、自動的にスリープモードになるように設定できます。設定については「ユーザーガイド」をご覧ください。



スリープモードを解除する

1

電源キーを軽く押してください。
この後は「本機の電源を入れる」(49 ページ)の手順 2 以降と同様に操作してください。

セットアップ

ここでは Windows のセットアップの流れについて説明しています。
セットアップの手順について、詳しくは「ユーザーガイド」をご覧ください。

セットアップの手順

1. 本機の電源を入れます。
2. 「ようこそ」が表示されたら、使用する言語を選び「次へ」をタップします。
3. 国または地域を選び「次へ」をタップします。以降は画面の指示に従って操作してください。
4. Windows のライセンス条項の画面が表示されたら、内容を確認し「同意する」をタップします。
注意：
同意しない場合、本機を使用できません。
5. 「次へ」をタップします。
6. 現在のタイムゾーンを選択し、「次へ」をタップします。
7. 表示された一覧から、接続する Wi-Fi アクセスポイントをタップします。
接続するアクセスポイントが無い場合や、後から設定する場合は、「スキップ」をタップして手順 10 に進んでください。
8. アクセスポイントのパスワードを入力し、「完了」をタップします。
9. 「次へ」をタップします。
10. 「推奨設定」をタップします。
11. 「このデバイスはだれが所有していますか？」が表示されます。

本機を利用する環境にあわせて、アカウントを設定してください。

- **Microsoft アカウントをお持ちの場合**
「サインイン」をタップし、Microsoft アカウントのメールアドレスとパスワードを入力してください。
- **新規に Microsoft アカウントを取得する場合**
「アカウントの作成」をタップしてください。
- **ローカルアカウントを使用する場合**
「後でサインインする」をタップしてください。
- **会社など職場のアカウントを使用する場合**
「職場用に設定します」をタップしてください。

以降は画面の指示に従って操作してください。

注意：

- 各種のサービスを同期するには、Microsoft アカウントでのサインインが必要です。
 - ローカルアカウントを使用する場合、サービスごとにアカウントやパスワードの設定が必要になります。
 - 職場アカウントを使用する場合の設定については、職場のネットワーク管理者などにご確認ください。
12. 「完了しました」と表示されたら、「完了」をタップします。
 13. スタート画面が表示されたら、セットアップは完了です。

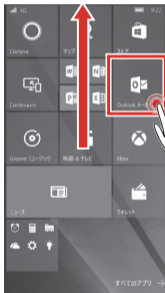
メール

標準のメールアプリ「Outlook メール」では IMAP、POP、Exchange 方式のメールが利用できます。

メールを送信する

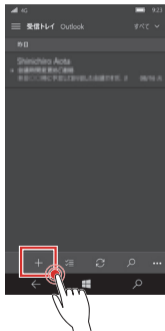
1

スタート画面を上ドラッグし、「Outlook メール」をタップします。



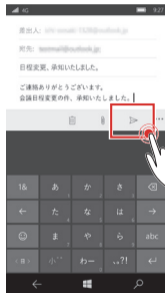
2

+ (新規作成) をタップします。



3

各項目を入力し、▶ (送信) をタップします。

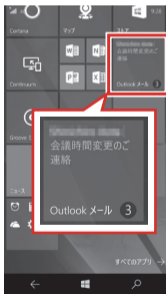


メールを受信すると

ステータスバーに通知アイコンが表示されます。詳細を確認するには、ステータスバーを下にドラッグしてください。



また、スタート画面の「Outlook メール」のタイルに、件数と差出人、タイトルなどメールの情報が表示されます。



ロック画面でもメールの件数を確認できます。



メール受信時にバナーを表示したり、通知音を鳴らすように設定することもできます。

本機の更新について

本機は、ネットワークを利用して、自動で本機のソフトウェアの更新が必要かどうかの確認とダウンロードを行い、スケジュールされた時間にダウンロードした更新の適用と再起動を行います。また、手動で確認と更新を行うこともできます。

ソフトウェア更新についてのご注意

- 本機の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータはバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 更新の確認、ダウンロード中でも、本機を使用できますが、ダウンロード後に更新を完了するために、本機の再起動が必要となる場合があります。
- ACアダプタを使用して、本機を電源に接続した状態にしておいてください。接続していない場合、更新は行われません。
- ソフトウェアの更新は通信量が大きくなる場合があります。Wi-Fi接続が可能な場所では、Wi-Fi接続を利用する設定にしておくことをおすすめします。
- 電波状態の良い所で、移動せずに操作してください。ダウンロードに時間がかかったり、失敗し、再ダウンロードが必要になる場合があります。

- ・ソフトウェア更新後に、本機が起動しないなどの問題が発生した場合は、お問い合わせ先（63 ページ）または最寄りのソフトバンクショップにご相談ください。

手動でソフトウェア更新する

手動で確認、更新をするときは、次の操作を行います。

1. スタート画面→すべてのアプリ画面→（設定）→「更新とセキュリティ」をタップします。
 2. 「システムの更新」をタップします。
 3. 「更新プログラムのチェック」をタップします。
- 以降は、画面に従って操作してください。

更新時の再起動の設定

1. スタート画面→すべてのアプリ画面→（設定）→「更新とセキュリティ」をタップします。
2. 「システムの更新」をタップします。

・自動で再起動しない時間を設定する場合

「アクティブ時間の変更」をタップし、開始時刻と終了時刻を選択して「保存」をタップしてください。
設定した時間帯は更新のための再起動を行いません。

・再起動を行う時間を指定する場合

「再起動のオプション」をタップし、「オン」に設定した後、日時を設定してください。

■注意：

再起動を行う時間の指定は、更新がダウンロード済みの場合のみ可能です。

取扱説明書について

■ ユーザーガイド

本書の最新版やユーザーガイドは、ソフトバンクホームページからダウンロードできます。

<http://tm.softbank.jp/mobile/sbm/lineup/smart/503lv/support/>

ユーザーガイドでは、本機の操作に関する情報をより詳細に記載しています。
本機、またはパソコンで確認できます。

■ 記載内容について：

取扱説明書の記載は、基本的にお買い上げ時の状態での画面、操作を説明しています。
お客様による設定の変更や、ソフトウェア更新などで変更があった場合、記載の内容と実際の操作が異なることがあります。

保証とアフターサービス

■ 保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついております。

- ・お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- ・内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証期間は、保証書をご覧ください。

■ 注意：

- ・本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは定期的にバックアップをとっておかれることをおすすめします。なお、故障、修理、機種変更の際や、その他の取り扱いなどによって、本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- ・ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼ったり、接着剤などで本機に装飾を施すと、改造とみなされることがあり、修理をお引き受けできない場合があります。

■ アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（63 ページ）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- ・保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- ・保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについてご不明な点は、お問い合わせ先（63 ページ）または最寄りのソフトバンクショップまでご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

■ ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
一般電話から ☎ 0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から ☎ 0800-919-0113（無料）

■ スマートフォンテクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら

ソフトバンク携帯電話から 151（無料）
一般電話から ☎ 0800-1700-151（無料）

■ ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

+81-92-687-0025（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

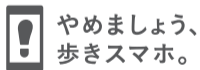
2016年10月第1版発行

ソフトバンク株式会社

ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank 503LV

製造元：レノボ・ジャパン株式会社



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

Reduce | Reuse | Recycle



Li-ion

Printed in China